



Kumamoto City

News Release

令和8年（2026年）6月3日

トップアスリートと考える「新しい学校部活動」推進事業 「サッカー教室を通じた指導者育成プログラム」の実施について

令和9年度からの新しい部活動制度を見据え、学校部活動を支える指導者の育成・確保を目的に、宮市亮選手（横浜F・マリノス）を招いた「サッカー教室を通じた指導者育成プログラム」を実施します。

トップアスリートによる実技指導や経験の共有を通じて、子どもたちの成長における部活動の価値や、大人が関わる意義を具体的に伝えるとともに、指導者として関わるきっかけの創出を図ります。

記

- 1 日 時 令和8年（2026年）6月9日（火）16時00分～18時00分
- 2 場 所 熊本市立長嶺中学校運動場（熊本市東区长嶺南7丁目21-40）
※雨天時：託麻南小学校体育館（熊本市東区长嶺東3丁目2-20）
- 3 講 師 Jリーグ横浜F・マリノス 宮市亮選手（サッカー元日本代表）
- 4 参加者（予定）大学生・現役部活動指導員 10名程度
長嶺中学校サッカー部 50名程度
- 5 共 催 熊本市教育委員会
一般社団法人くまもと学校部活動推進機構
- 6 実施内容 ・トップアスリートによるサッカー教室（指導者及び大学生向け）
・指導者参加型セッション（中学生指導体験）
- 7 別添資料 事業詳細については別紙のとおり
- 8 取材に関する留意事項
○取材をご予定の方は、必ず6月8日（月）16時までに次頁の問い合わせ先にご連絡をお願いします。雨天により場所が変更となった場合は、事前に取材を申し込みいただいた方へご連絡いたします。
○車でお越しの際は、事前にご一報のうえ、市側が指定する駐車場に駐車してください。

【お問い合わせ先】

教育委員会事務局 教育総務部 教育改革推進課

電話：０９６－３２８－２７０８

担当課長：喜佐田 充伸（きさだ みつのぶ）

主幹兼主査：佐藤 美香（さとう みか）

トップアスリートと考える「新しい学校部活動」推進事業
～サッカー教室を通じた指導者育成プログラム～

中学校部活動が全国的にクラブ活動へ移行する中、熊本市では、こどもたちにとって貴重な成長の場である「学校部活動」を継続しています。

その継続にあたっては、こどもたちの居場所や成長機会の確保に加え、教員の長時間労働の解消といった働き方改革にも同時に取り組むことが不可欠です。

そこで本市では、部活動指導を希望する教員に加え、大学生や民間企業の従業員など、地域の多様な人材に指導者として参画いただくことで、学校部活動を持続的に支える仕組みの構築を進めています。

本事業では、トップアスリートによる実技指導や経験の共有を通じて、こどもたちの成長における部活動の価値や、大人が関わる意義を具体的に伝えるとともに、指導者として関わるきっかけの創出を図ります。

共催 熊本市教育委員会、一般社団法人くまもと学校部活動支援機構

講師 Jリーグ横浜F・マリノス 宮市亮選手（元日本代表）

日時 2026年6月9日（火）16時00分～18時00分

場所 熊本市立長嶺中学校（熊本市東区长嶺南7丁目21-40）

※雨天時は託麻南小学校体育館（熊本市東区长嶺東3丁目2-20）

参加 大学生・現役部活動指導者10名程度

長嶺中学校サッカー部 50名程度

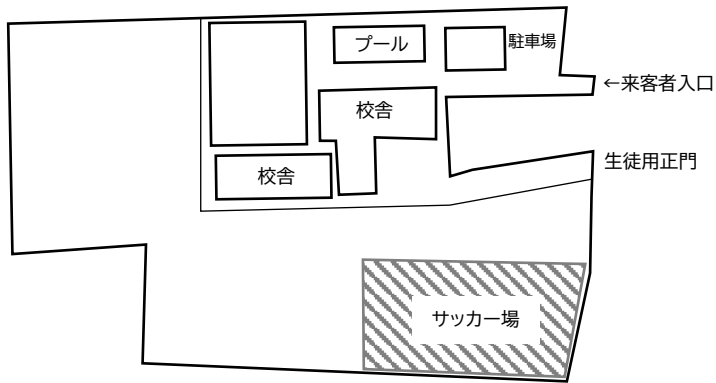
内容 1. トップアスリートによるサッカー教室（指導者及び大学生向け） 30分

- ・宮市亮選手を講師に迎え、フィジカル面の強化やケガ予防、継続することの大切さなどについて直接指導を実施。
- ・これからの部活動のあり方や、こどもたちの成長にとってどのような環境が重要であるかについて、宮市選手の視点から解説。

2. 指導者参加型セッション（中学生指導体験） 1時間

- ・大学生及び現役の部活動指導員が実際にこどもたちの指導を通し、トップアスリートから直接アドバイスを受ける。
- ・トレーニング法「けがを防ぐ、ケガを乗り越える」
- ・プロの技を学ぶ「抜かれない守備、抜き切る攻撃」

○会場(長嶺中学校)



〈 参 考 〉

[宮市亮選手について]

- 1992年愛知県出身。小学校3年生からサッカーを始める。
- 生年月日/出身：1992年12月14日生まれ/愛知県出身
- 所属クラブ：横浜F・マリノス
- サッカー歴：
 - 小学校3年生からサッカーを始める
 - 中京大学附属中京高等学校出身。
 - 中京大学附属中京高等学校卒業後に「アーセナル FC」に入団。
 - その後はオランダ、ドイツなど欧州の複数クラブへレンタル移籍や完全移籍を経て経験を積み、2021年夏からは横浜F・マリノスに完全移籍。
 - 日本代表デビューは2012。
- キャリアを通じて度重なる大ケガ（度重なる膝の前十字靭帯断裂など）に見舞われながらも、その都度不屈の精神でリハビリを乗り越えてピッチに復帰してきた選手。

